

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	こどあそ
まちづくり 活 動 名	こどあそ
活 動 地 域	東区筒井町周辺
活 動 の 背 景	（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） 第一子を出産した際、「自分では経験させられない遊びや学びを子どもに届けたい」との思いから本団体を立ち上げました。 2024年はダンススタジオ「REAL」を主体に、名古屋市東区建中寺で年2回、マーケットを実施。地元ダンサーやヨガ講師、REALメンバーによるダンスワークショップ・ゲームなど、多世代が交わるプログラムで延べ1,000名以上が参加し、地域のつながり再生と子どもの主体性育成に貢献しました。 2024年12月この実績を基盤に、私たちが主体的にやりたいことを実現するため、新たに団体を立ち上げプログラム数の拡大とともに、高齢者や障がいのある方も参加しやすい環境整備を進め、さらに多様な世代が主体的に楽しめる“屋外マーケット”を目指し「こどあそ」を立ち上げ活動しています。
目的・目標	（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください） ■ 活動の目的 子どもたちが主体的に遊び、地域のさまざまな世代と自然に交流できる場をつくりまします。安全・安心な環境の中で、地域コミュニティの絆を育み、誰もが参加しやすいあたたかな地域づくりを目指します。 ■ 活動により実現したい目標 子ども50名程度が参加するワークショップを実施し、子どもたちの主体性と大人との交流を深めます。 ■ 活動を通じて得られる成果 遊び場・職業体験の場として地域に定着させ、ボランティア参加への意欲も高め、地域の持続的な活性化につなげます。
活 動 内 容	（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。） ■ 活動内容・実施方法 ■ 開催 ・東区筒井町周辺で、公園などを会場に「こどあそマーケット」を実施。事前に公園管轄の東土木事務所と連携し日程を調整し時期を選定 ■ 体験ワークショップ ・アートセラピーに基づいたアートワーク体験 ・農業体験（職業体験） ・自然素材クラフト（土からの作品作り） など年齢別プログラムを用意し、地域のボランティア講師が指導。 ■ 世代間交流 ・絵本などの読み聞かせ、相互支援と会話を促進。 ■ 安全管理・運営体制

	・開催前に会場の危険箇所をスタッフが点検 ・熱中症対策として大型イベントテントの設置による日陰づくり ・スタッフ、ボランティアが巡回・見守り ■ 広報・集客 ・Instagramや近隣へのチラシ配布で告知	
活動予定期	2025 年 6 月 ～ 2025 年 11 月	
助成金交付申請額	50,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
（活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。） ■活動の目的 私たちは、地域に住む子どもたちが主体的に遊び、多世代が自然に交流できる「場づくり」を目指しています。地域内で子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所をつくることで、世代を超えた絆を深め、住みよい地域環境の実現を図ります。本活動は、メンバー内だけにとどまらず、多くの地域住民や事業者と連携して進めるものであり、地域に開かれた取り組みです。 （根拠：2024 年にはダンススタジオ「REAL」主体で「こどもあそマーケット」を 2 回開催し、延べ 1,000 名の親子や地域住民が参加。これらの実績を踏まえ、さらなる開催頻度の向上と連携先の拡大を図ります。） ■活動により実現したい目標 ・屋外型イベント「こどもあそマーケット」を定期開催し、地域住民の交流機会を増やします。 ・来場者延べ 500 人を目指し、子ども 50 名以上が参加するワークショップを実施します。（根拠：2024 年にダンススタジオ「REAL」主体で 2 回開催した際、延べ 1,000 名が参加した実績を基に算出） ・活動を通じて、子どもたちの自己肯定感と地域住民の交流意欲を高めます。 ■活動を通じて得られる成果 ・参加者アンケートで満足度 80%以上を達成し、地域ニーズへの適合性を証明します。 ・継続参加率を 60%以上とし、活動が一過性ではなく地域に根付いていることを示します。 ・遊び場・職業体験の機会提供により、地域内の子育て環境向上と、ボランティア活動への参画意欲向上につなげます。 ■助成金の必要性 本活動の実施にあたっては、会場設営費、ワークショップ運営費、広報活動費など一定の費用が発生するため、助成金の支援が不可欠です。地域住民の理解と共感を得ながら、持続的なまちづくり活動へと発展させるために、助成金の活用を希望しています。	
審査基準② 実現性	・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か

(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)

①活動内容の具体性
 本活動では、以下を中心に具体的なプログラムを展開します。

- 屋外イベント「こどあそマーケット」の開催
 → 会場設営・安全対策・ワークショップの企画・運営を一貫して実施。
- ワークショップ実施（子ども 50 名）
 → 農業体験：足踏み式脱穀機を使った農業体験、
 アートワークショップ：1.5m×3m の大きな布に絵を描く
- 多世代交流型のイベント運営
 → 子どもと大人と一緒に楽しめるゲームや、体験型プログラムを企画。
- 事前準備・周知活動の徹底
 → 地域回覧板・SNS・チラシ配布などを通じた広報活動を実施。

こうした具体的な活動計画により、無理のない運営と着実な成果を目指します。

②資金計画の妥当性
 活動にかかる主な費用は以下のとおり、現実的な見積もりとしています。

- 会場使用料・設営費用
- ワークショップ資材・講師謝礼
- チラシ作成・配布費用・SNS 広告（広報活動）

助成金を活用することで、活動の品質と安全性を確保し、無理のない収支運営を実現します。

③人員・規模の妥当性

- 運営スタッフ：代表者 1 名、企画・運営担当 6 名、当日サポートスタッフ 4 名（ボランティア含む）
- 参加対象：地域住民（子ども・大人）来場者目標 500 名（以前の活動実績をもとに算出）
- 運営規模：マーケット出店数 10～15 ブース、ワークショップブース 4～6 ブースを想定

適正なスタッフ体制と規模感により、安全管理と参加者対応が十分に可能です。
 また、過去のイベント経験を踏まえた上で、無理のない規模設計としています。

審査基準③ 発展性

- ・ 今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・ 活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか

(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)

■ 今後の活動発展に向けた視点と計画

- ・ 「こどあそマーケット」開催を定着させた後、開催頻度を年 4 回（3 カ月に 1 回）へ拡大する計画
- ・ 新たに地域事業者・農家・クリエイターなどとの連携を深め、ワークショップや体験型ブースの多様化を図る
- ・ 子どもだけでなく、親子・シニア世代を巻き込んだ「三世代交流型プログラム」を新設し、より広い世代間交流を促進する
- ・ 将来的には、地域内複数箇所（公園・公共施設など）での分散型マーケット展開も視野に入れ、地域全体への広がりを目指す

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
東土木事務所 町内会	活動場所の調整 2025 年 4 月 20 日連絡済み 町内会長の紹介 2024 年 12 月

※第 2 号様式は 3 ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2025	4	キックオフミーティング	開催計画
	5	ミーティング	開催計画の確定、役割分担・予算配分の決定
	6	会場	建中寺公園使用申請
	7	広報開始 備品手配	チラシデザイン確定（2,000部印刷）、SNS告知文作成・配信
	8		
	9	「こどもあそマーケット」 開催 9月20日（土）	・アートセラピー「大きな布に絵を描こう」 ・足踏み式脱穀機で農業体験 ・絵本読み聞かせ
	10	振り返り&改善会議	アンケート集計、運営課題抽出、次回プログラム修正
	11	活動の報告の打合せ&提出	実績報告作成
2026	12		
	1		
	2		
	3		

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

費 目 手引きの費目を参照		活動項目	内訳・算出根拠	金 額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				50,000
活動経費の内訳	報償費謝金	布アート	アートセラピストへ謝礼 6,700 円×2 人	13,400
		昔農業体験	農業家へ謝礼 6,700 円×1 人	6,700
		絵本読み聞かせ	絵本士へ謝金 6,700 円×1 人	6,700
	消耗品費	布アート	アクリル絵の具 24 色 250ml 5,799 円×2 セット	11,598
			ナイロン絵筆 100 本セット 965 円×4 セット	3,860
			白色布 1.5m×4m 1,200 円×2 枚	2,400
			服の汚れ対策 使い捨てエプロン 100 枚 1,780 円×2 セット	3,560
			汚れ対策 使い捨てアームカバー100 枚 1,280 円×2 セット	2,560
			入場券代わりのリストバンド 100 枚	599
		農業体験	稲藁 3 キロ	3,000
		参加記念品	ペン型 除菌消臭剤 10ml 60 円×70 本	4,200
	印刷製本費	告知用チラシ	こどあそマーケット告知チラシ 両面カラー 2,000 枚	5,170
	使用料 及び賃借料	イベント会場	建中寺公園 1.5 日使用料 前日設営当日撤収のため 1.5 日使用	10,568
支出合計				74,315

※1 ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。